

東日本大震災

被災地にパソコンを

中小企業
支援へ 修理会社が提供募る

高砂

として1台8千円も負担してもらおう。

東日本大震災で被災した東北3県の中小企業を支援しようと、高砂市曾根町のパソコン修理会社「パナソニックそらみみ工房」が、不要になったパソコンを募っている。使えるように整備し、兵庫県中小企業家同友会を通して被災地に届ける。

対象はウィンドウズ7、ビスタ、XPの3機種。同社が部品交換と修復作業をし、提供者には新しいハードディスク代

同社代表の稲澤康博さん(38)は、自身も所属する同友会が、支援物資としてパソコンを募っているのを知り、5月初旬からホームページで提供を呼び掛けた。被災地では多くの中小企業が、津波などでパソコンを失ったという。

まずは50台を集めて発送する予定。稲澤さんは「現地が『もうパソコン提供は必要ない』と言えるまで、息長く支援したい」と決めている。提供

者にも負担がかかるが、パソコンによっては廃棄するのに3千〜7千円程度かかるという、「支援

の一つとあって協力をお願いしたい」と話す。状態によっては受け付けられない場合もあり、まず電話で相談してから郵送または持参する。そらみみ工房 ☎079・448・8855

(黒田恵子)



不要になったパソコンの提供を呼び掛ける稲澤康博さん＝高砂市曾根町